

令和 5 年 12 月 7 日  
西日本高速道路株式会社

## E2 山陽自動車道 尼子山トンネル火災事故技術検討会 ～第4回技術検討会の結果について～

E2 山陽自動車道(E2 山陽道)は、<sup>あまこやま</sup>尼子山トンネル(下り線)内火災の影響により、9月5日から<sup>はりま</sup>播磨ジャンクション(JCT)～<sup>あこ</sup>赤穂インターチェンジ(IC)間の下り線で通行止めとなっています。

安全性の確認や復旧方法の検討、復旧作業状況の確認のため、西日本高速道路株式会社は、学識者による「山陽自動車道 尼子山トンネル火災事故技術検討会」を立ち上げ、検討を行っているところです。

本日開催した第4回技術検討会の結果について、以下のとおり、お知らせいたします。

1. 日 時 令和5年12月7日(木) 10:00～11:30
2. 場 所 ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター 4F サファイア  
住所 大阪府大阪市淀川区西中島 6-2-19
3. 結果概要 別紙1のとおり
4. 委 員 別紙2のとおり
5. そ の 他 本技術検討会の開催履歴及びう回情報等は以下サイトにてとりまとめております。  
[https://www.w-nexco.co.jp/sanyo\\_fire\\_closure/](https://www.w-nexco.co.jp/sanyo_fire_closure/)

## 山陽自動車道 尼子山トンネル火災事故技術検討会 第 4 回技術検討会の結果概要

### 1. 施工状況の報告

○具体的な復旧計画に基づく、作業が順調に行われていることを確認した。また、現場を確認し、現時点で品質が担保されていることを確認した。

### 2. 供用後のモニタリング

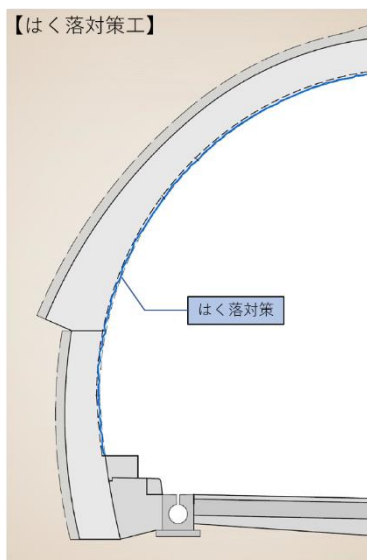
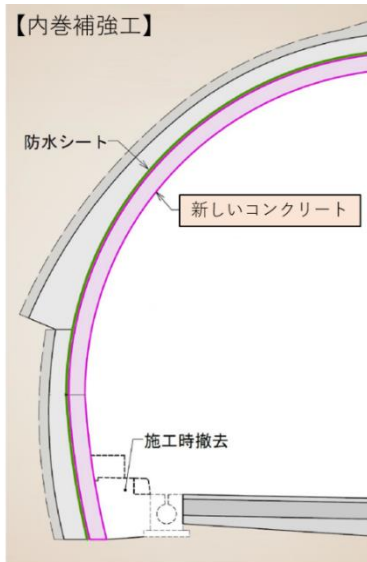
○供用後にモニタリングを実施する項目及び頻度について確認した。

以 上

## 復旧作業状況



## 標準的な補修工法の概略図



■ 覆工コンクリート表面からの影響が深い箇所  
損傷したコンクリートを除去し、新しいコンクリートを打設



■ 覆工コンクリート表面からの影響が浅い箇所  
落下の可能性のあるコンクリートをはつき落とし、塗布系材料を用いて覆工を防護



山陽自動車道 <sup>あまこやま</sup> 尼子山トンネル火災事故技術検討会 委員名簿あくとがわ しんいち  
芥川 真一

神戸大学大学院工学研究科市民工学専攻 教授

いさご のぶはる  
○砂金 伸治

東京都立大学都市環境学部 都市基盤環境学科 教授

おおやま おさむ  
大山 理

大阪工業大学工学部都市デザイン工学科 教授

きしだ きよし  
岸田 潔

京都大学大学院工学研究科 都市社会工学専攻都市基盤システム工学専攻 教授

くさか あつし  
日下 敦

国立研究開発法人土木研究所 上席研究員

なかの きよと  
中野 清人

株式会社高速道路総合技術研究所 道路研究部 トンネル担当部長

にしだ ひであき  
西田 秀明

国土交通省国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 構造・基礎研究室 室長

やまぎき てつや  
山崎 哲也

株式会社高速道路総合技術研究所 道路研究部 トンネル研究室 室長

(○は委員長)

(50音順、敬称略)